



皇和電機株式会社

<https://www.seiwa.co.jp/>
京都府城陽市寺田新池36番地
TEL: 0774-55-8181

経営理念

人材の開発と相互信頼に努め、
新技術に挑戦して、
社会に貢献する。

株主のみなさまへ	1
事業別の概況(連結)	3
トピックス	5
財務の状況(連結)	7
会社概要	9
株主メモ	10

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当社グループ第71期第2四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)の事業が終了しましたので、その概要をご報告申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、企業業績の回復により設備投資も増加基調で推移し、雇用環境の改善、個人消費の持ち直しなど、景気は緩やかな回復基調が継続しました。しかしながら、台風や地震などの自然災害による大規模な被害、米中貿易摩擦の激化や中東における地政学的リスクなどにより、景気の先行きは依然として不透明な状況にありました。

このようななか、当社グループにおきましては、マーケティング機能の拡充とソリューション営業力の強化を図り、競争力ある新商品の開発と生産体制の確立により収益性の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、業績予想70億円に対して73億65百万円(前年同期比8.5%減)、経常損失は業績予想9億70百万円に対して7億21百万円(前年同期は7億18百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は業績予想8億円に対して4億76百万円(前年同期は

5億62百万円の損失)となりました。

中間配当については、従来どおり見送りとさせていただきますので、ご了承のほどお願い申し上げます。

今後の見通しにつきましては、米国の貿易政策や中東の地政学的リスクによる原油価格の上昇など不安要因はあるものの、企業業績の回復を背景として設備投資は堅調に推移し、雇用環境の改善、個人消費の持ち直しは継続し、景気は緩やかな回復基調が続くと予想されます。

しかしながら当社のおかれた事業環境をみると、官需関連については公共投資全般は堅調な推移が見込まれますが、道路関係におきましては大型案件の端境期となる今期についても価格競争が依然として続いています。民需関連については、企業業績の回復に伴う堅調な設備投資と半導体事業の拡大、個人消費の持ち直しに下支えされ、LED照明器具や電磁波環境部品などの売上は伸びているものの、受注競争や売価の低下など厳しい状況が続いています。

このような状況のもと、ソリューション営業力の強化による受注確保と新規物件の開拓、品質の向上と生産体制の確立により収益性の向上を図り、全社一丸となって売上、利益の確保に努めてまいります。

さらに、全事業分野にわたり社会の発展に寄与する独創的な商品の提供はもとより、省エネルギーを実現する商品の開発を促進し、地球環境に向けた取り組みを進めるとともに、品質・安全性の確保を図り、顧客満足の一層の向上に努めてまいります。また、ひきつづき全社を挙げて内部統制の確立、コーポレートガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成30年12月

取締役社長

増山晃章



事業別の概況(連結)

情報機器事業

15億73百万円(前年同期比 22.7%減)

主要製品

- 情報表示システム
- トンネル防災システム
- LED式信号機

この事業の主力製品であります道路情報機器において、高速道路向けの売上で大型物件があった前年同期に比べ減少しました。



照明機器事業

27億15百万円(前年同期比 12.8%減)

主要製品

- 照明器具
- 制御機器
- LEDモジュール製品

民間設備投資関連の産業用照明器具においては、LED照明器具の売上が堅調に推移し前年同期に比べ増加しました。



一方、公共投資関連においては、トンネル照明器具の売上で大型物件があった前年同期に比べ大きく減少しました。

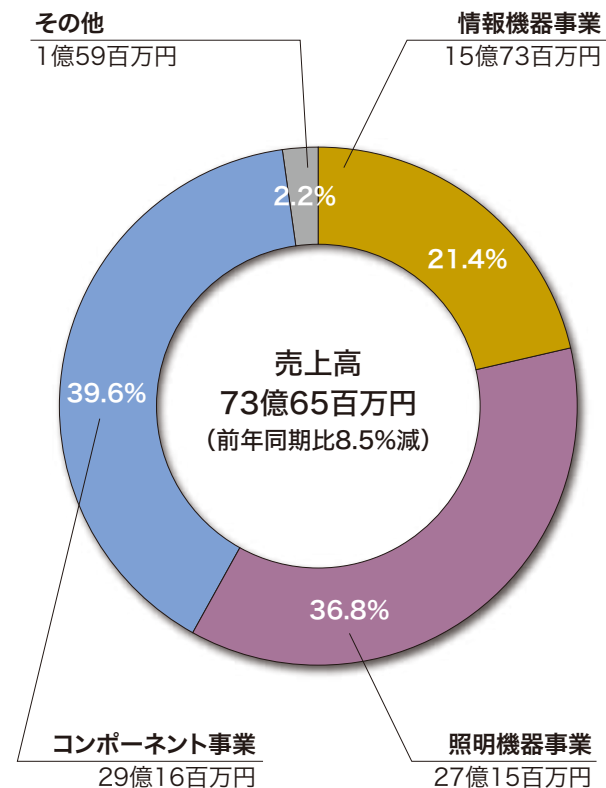
コンポーネント事業

29億16百万円(前年同期比 5.9%増)

主要製品

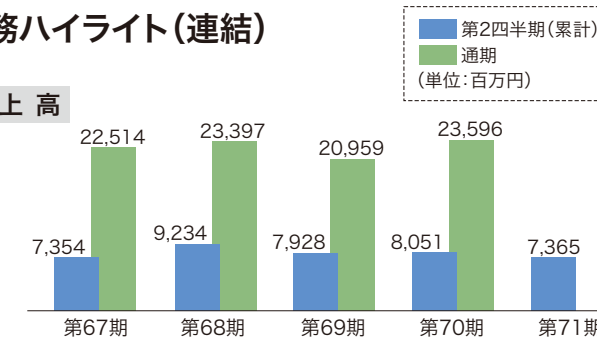
- 配線保護機材
- 配管保護機材
- 電磁波環境部品

配電盤や機械装置に用いる産業用配線保護機材は前年同期に比べ売上が減少しましたが、エアコン用の配管保護機材は前年同期に比べ増加しました。また、電磁波環境部品は前年同期に比べ増加しました。

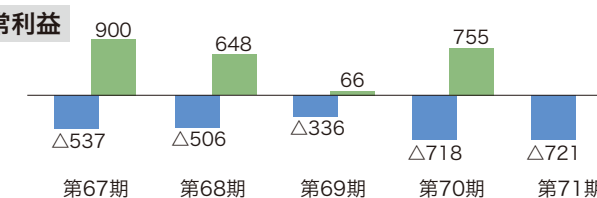


財務ハイライト(連結)

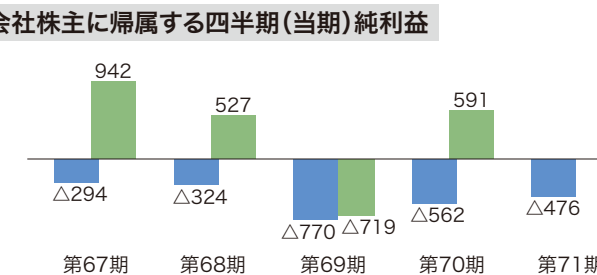
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



国土交通省近畿地方整備局長より感謝状

「城陽エコクリーン」国道24号線の
道路美化清掃活動

国土交通省近畿地方整備局長より国道24号線の道路美化清掃等の道路維持管理活動に対して感謝状を頂きました。平成24年にボランティア・サポート・プログラムの協定を結んでから、平成28年に京都国道事務所長から感謝状を授与、平成29年には本社前にサインボードを設置。そして、今回の局長からの感謝状授与となりました。今後も引き続き清掃活動を行うことで地域貢献、国道等の美化活動を続けてまいります。



※城陽エコクリーンは、星和電機のボランティア・サポート・プログラムの活動団体名です。

中日本高速道路株式会社より感謝状

全国初 110km/h表示が可能な
可変式速度規制標識を納入

新東名高速道路において、全国で初となる110km/hの表示が可能な可変式速度規制標識を納入しました。3桁の表示は100km/hで実績があるものの、110km/hは全国初となりました。表示基板の開発、普通車用と大型貨物用等の種類によって2つの異なる速度表示をするためのシステム構築や、納入済みの制御機に対する改造時間の短縮等が必要でした。新製品開発に加え短期間での工事を無事故で遅延なく完了できたことも評価され、感謝状をいただくことが出来ました。



3相コモンモードチョークコイルを発売

パワーモジュール製品向けの
ノイズ対策製品

電磁波ノイズ対策製品(EMISTAR)シリーズのラインアップとして、コモンモードチョークコイル「E24CMC」シリーズの3相品を発売しました。3相コモンモードチョークコイルは、インバーターおよび産業機械や業務用エアコン、パワーコンディショナー等を制御するパワーモジュール製品向けのノイズ対策製品です。本製品の定格電流は60Aと大電流に対応しており、カスタム対応も可能です。コア(磁心)にはナノクリスタル材(軟磁性材料)を使用しており、透磁率が高く優れたノイズ抑制効果があり、kHz帯域での高いインダクタンス性能をもっています。また、高温環境下(最高130℃)でも安定した性能を維持できます。



Shanghai International Lighting Fair 2018 に出展

常熟星和電機有限公司による
ソリューション営業の推進

星和電機海外グループ子会社である常熟星和電機有限公司が、第4回上海国際照明展覧会(Shanghai International Lighting Fair 2018)に出展しました。中国江蘇省常熟市にある工場で生産する防爆形LED照明器具(LZWA、LZIB)をはじめとして、電磁波ノイズ対策製品やLEDモジュール製品等も展示しました。安全や環境等の規制が厳しくなる中国国内において、日本で長年培った技術力・品質力で顧客の課題を解決するため、製品の魅力を訴求しました。



財務の状況(連結)

連結貸借対照表

百万円単位、単位未満は切り捨て

	前第2四半期末 平成29年9月30日現在	当第2四半期末 平成30年9月30日現在	前期末 平成30年3月31日現在
[資産の部]			
流動資産	15,021	12,140	17,986
固定資産	7,526	7,742	7,705
有形固定資産	3,148	3,013	3,039
無形固定資産	608	538	576
投資その他の資産	3,768	4,189	4,089
資産合計	22,548	19,882	25,692
[負債の部]			
流動負債	11,546	7,243	11,698
固定負債	2,352	2,668	3,405
負債合計	13,899	9,911	15,104
[純資産の部]			
株主資本	7,662	8,882	9,490
資本金	3,380	3,648	3,648
資本剰余金	3,675	3,943	3,943
利益剰余金	807	1,353	1,961
自己株式	△200	△62	△62
その他の包括利益累計額	968	1,065	1,078
非支配株主持分	17	22	19
純資産合計	8,648	9,971	10,588
負債・純資産合計	22,548	19,882	25,692

連結損益計算書

百万円単位、単位未満は切り捨て

	前第2四半期(累計) 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	前期 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
売上高	8,051	7,365	23,596
売上原価	6,995	6,388	19,081
売上総利益	1,056	977	4,515
販売費及び一般管理費	1,769	1,687	3,754
営業利益又は営業損失(△)	△713	△710	760
営業外収益	76	83	171
営業外費用	82	95	176
経常利益又は経常損失(△)	△718	△721	755
特別利益	11	6	18
特別損失	25	14	27
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△732	△729	747
法人税、住民税及び事業税	21	17	158
法人税等調整額	△192	△274	△4
当期純利益又は四半期純損失(△)	△561	△472	593
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	0	3	2
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△562	△476	591

連結キャッシュ・フロー計算書

百万円単位、単位未満は切り捨て

	前第2四半期(累計) 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	前期 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,012	2,465	△859
投資活動によるキャッシュ・フロー	△438	△247	△579
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,252	△2,217	1,493
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△6	△9
現金及び現金同等物の増減額	△201	△6	45
現金及び現金同等物の期首残高	2,255	2,300	2,255
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	2,053	2,294	2,300

会社の概況(平成30年9月30日現在)

商号 星和電機株式会社
 英文名称 SEIWA ELECTRIC MFG. CO., LTD.
 創業 昭和20年10月1日
 資本金 36億48百万円

事業所

本社・工場 京都府城陽市寺田新池36番地
 東京支社 東京都台東区柳橋二丁目19番6号
 関西支社 大阪市西区靱本町一丁目4番12号
 中部支社 名古屋市東区葵一丁目26番8号
 北海道支社 札幌市中央区大通西7丁目1番地1
 営業所 盛岡・仙台・新潟・京都・高松・
 広島・福岡

役員(平成30年9月30日現在)

取締役社長(代表取締役) 増 山 晃 章
 常務取締役 乾 勝 典
 常務取締役 望 月 友 彦
 常務取締役 春 山 雅 彦
 取締役 正 林 啓 志
 取締役 寺 垣 敬 司
 取締役(監査等委員) 佐 野 廣 一
 取締役(監査等委員) 中 野 淑 夫
 取締役(監査等委員) 益 満 清 輝

※中野淑夫および益満清輝は社外取締役であります。

執行役員(平成30年9月30日現在)

執行役員 八 木 舜 也
 執行役員 古 田 雅 也
 執行役員 竹 之 内 光 彦
 執行役員 小 林 浩 幸
 執行役員 宮 下 雅 良
 執行役員 成 平 幸 弘
 執行役員 芦 田 二 朗
 執行役員 谷 口 浩 二
 執行役員 河 合 隆

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 基準日 定時株主総会 3月31日(その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。)

期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日

単元株式数 100株
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告方法 当社のホームページ(<https://www.seiwa.co.jp/>)に掲載します。

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

お問い合わせ先

	証券会社等の口座で株式をお持ちの場合	特別口座に記録された株式をお持ちの場合
郵便物送付先	お取引の証券会社等	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	※支払明細発行については、右欄の「特別口座の場合」と同じ郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできません。 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできません。 株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	